

2022  
8 - 9

# NEWS LETTER

第 16 号

丹波市社会福祉協議会 柏原支所

## topics

1



お米deつなぐ助け愛  
プロジェクト 2022

2



誰ひとり取り残さない  
地域を目指して

3



お知らせ

1

## お米deつなぐ助け愛プロジェクト 2022



▲令和3年度に柏原地域支えあい推進会議の委員と精米・分配作業を行った様子。約800kgのお米が集まり、生活に不安を抱える方にお渡ししました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、休業や失業などにより、生活に不安を抱える方が全国的に増加し始めた2020年。その年から始め、3年目となる「お米deつなぐ助け愛プロジェクト」を柏原地域支えあい推進会議と協力し、今年度も実施します。

本事業は、柏原地域でお米を集め、本会を通じて、生活に不安を抱える方へお渡しする事業となっております。今年度も引き続き丹波ひかみ農業協同組合様に精米をご協力いただき、また新たに、柏原日本語教室こんにち様、FamilyMart柏原南多田店様が協力団体として支援いただけることになりました。

本事業を通して、生活に不安を抱える方への支援はもちろんのこと、支援のネットワークを広げ、支えあいの体制づくりを協働で推進していきたいと考えています。皆様のご協力をお願いします。

### ○お米の搬入について

搬入期間：9月26日（月）～10月1日（土）  
搬入時間：午前9時30分～午後5時  
受付場所：柏原自治会館、新井ふれあいセンター  
柏原福祉センター の3カ所  
※古米・新米、玄米・精米済み等問いません。

### ○お米の受け取り希望者について

随時、丹波市社協柏原支所（0795-72-1236）へご連絡をお願いします。お渡しは、精米・分配作業が終わる10月中旬以降を予定しています。

## 2 誰ひとり取り残さない地域を目指して ～「地域でつなごう助け合い」の実践～

### ①「地域でつなごう助け合い」の開発

個人情報保護に対する過剰反応により、住民や機関の意識が変化し、見守り活動等の地域福祉活動で、対象者の情報を収集することやニーズを把握すること、情報の共有が困難になったという問題が全国的に見られます。人口減少、少子高齢化、前期高齢者の減少・後期高齢者の増加、高齢単身世帯の増加などが同時に進む地域において、どのように支えあいの地域づくりを進めていくのか？

柏原地域支えあい推進会議では、協議や研修を重ね「ルール作り」「つながりの構築」がキーワードであると考え、この二つのキーワードについて考えるきっかけづくりとなるゲーム「地域でつなごう助け合い～柏原地域支えあい推進会議版情報共有シミュレーションゲーム～」を開発しました。



◀地域でつなごう助け合いの様式一式。お互いの情報を共有しなければ安否確認やアクシデントへの対応が進まない仕様となっている。



### ② 第9回地域生活を考える勉強会の開催

開発した「地域でつなごう助け合い」を普及するため、柏原地域の自治会役員と民生委員・児童委員を対象に、第9回地域生活を考える勉強会を開催しました。参加者は総勢50名、開発の意図や今後の進め方を説明し、地域でつなごう助け合いを実践していただきました。

アドバイザーとして出席されていた兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科の教授、澤田雅浩准氏と兵庫県社会福祉協議会地域福祉部の永坂美晴氏は講評で「地域がもともと抱えていた課題が、災害時大きな被害につながる。」「個人情報の保護が叫ばれている昨今だが、有事の際の個人情報の取り扱いについて話し合いを深めてほしい」などと伝え、「誰一人として犠牲者を出さないという考えのもとで進められている皆さんの取り組みは、県内でも全国でも数段飛びぬけている」と高く評価されました。



### ③今後の進め方について

新聞やネットニュースに取り上げられたこともあり、他県他市から多くの問い合わせがあります。今後は柏原地域の自治会での実践を進めたいと考えておりますので、ご検討いただければと思います。



▲丹波市自治会長会理事研修での実践の様子

## 3 お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年度の福祉バザーは中止いたします。  
9月30日(金)に開催を予定しています、福祉委員会においてもお伝えさせていただきます。

発行元

(福)丹波市社会福祉協議会 柏原支所  
TEL 72-1236